

































前立腺全摘術を受けられる

説明医師

様へ

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日		
経過	入院日	当日（術前）	当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3～6日目	術後7日目以降	退院日		
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		○手術に伴う合併症の出現が最小限である ○合併症出現時早期発見対処される		○転倒・転落がない ○疼痛がコントロールされる		○管を抜いて、自然排尿がある ○尿漏れの対処方法を理解し実施できる		○尿漏れが改善していく ○退院後の療養上の注意点について理解できる	
検査	採血をします 			採血をします レントゲン撮影 があります  			管を抜く前に、 尿の通りを見る検査があります			
食事	夕食まで可 麻酔科の医師の指示で 飲水の許可があります 	食事はとれません 		飲水の許可、医師の許可が 出次第、食事を再開します						
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで装着します) 下肢の深部静脈血栓の予防のため に、アンシルク(弾性ストッキング) を準備します 手術部位に合わせて 除毛を行います	手術準備のために浣腸をします 浣腸の後にシャワーをすませ、 手術衣に着替え、アンシルク(弾性 ストッキング)をはいてください 時間になれば看護師が 手術室へ案内します	・尿管 ・創部の管 ・点滴の管 ・酸素マスク ・背中から痛み止めの管 が付いています 手術の後は看護師が 時間毎に観察に来ます 背中に挿入されている痛み止めの 使用方法の説明をします 痛みや膀胱刺激症状が強い場合 は、ナースコールで申し出てください	創部の状態によっては 保護材を交換します 酸素吸入は、状態に応じて 徐々に減量・中止していきます 背中に入っている痛み止めの 管を抜きます 状態によって創部に入っている 管を抜きます	創部の状態によっては 保護材を交換します		尿管は医師の許可があれば 抜去します 手術後7日目に 創の処置をします	退院時にリストバンドを外します		
注射・内服	いつも服用しているお薬の ある方は確認しますので 看護師に渡してください 眼前に下剤を服用します 	手術室・または病棟で 点滴を開始します 	持続点滴を行います (止血剤入り)  抗生物質の点滴を 行います 	持続点滴を行います (止血剤入り)  抗生物質の点滴を 朝と夜に行います  血栓の予防のために 皮下注射を行います 	抗生物質の点滴を 朝と夜に行います  血栓の予防のために 皮下注射を行います 	点滴がなければ針を抜きます	血栓の予防のために 皮下注射を行います 			
行動	制限はありません  シャワー・洗髪をしてください  		翌朝までベッドの上で過ごしても らいますが、下肢の静脈血栓の予 防のため下肢を動かしてください 	医師の許可がありましたら 部屋の中を歩きます 最初の歩行時は看護師が 付き添います  看護師が体を拭きます  食事再開後は、1日1.5リットルを 目安に、水分を多く取ってください		医師の許可があれば、 シャワー浴を再開します  初回のシャワーの時に 看護師が付き添います				
説明	医師より説明 治療計画と手術に ついて  看護師より説明 入院生活と手術前 の療養上の注意点に ついて  薬剤師より説明 薬について  手術室の看護師より説明 手術について 		医師より説明 手術の結果について  看護師より説明 手術後の療養上の 注意点について 				尿管を抜いた後、 最初の尿を看護師が確認するの で、破棄せず知らせてください  以降も量を計り、 シートに記入してください  しばらくは尿漏れがあるので、 尿パッドを購入してください 「骨盤底筋運動」を行ってください パンフレットを渡します	医師・看護師より説明 退院後の療養生活について  		

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。